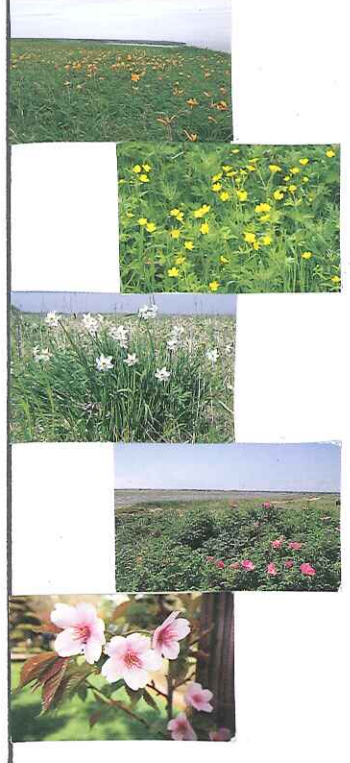


岩手県
一戸中学校

四島

高校生は言った。「四島は美しい船から見える北方領土は緑がともきれいだ。たそうだが、四島に近づくと、色々な問題が見えてきたとも語っている。一番深刻なのは開発による自然の崩壊。工場から多量排出される汚ない空気が汚れた水、島のいたるところにあるごみの山はそのまま放置。重要地域の自然保護はされているが人間の生活に対し意識は甘い。これがもっとひどくなったら周りの海にも影響が出るだろうから、日本とロシアがもっと真剣に議論しても良いと思ふ。」

亦々



元島民の河田 弘登志さんはこう語ってくれた。「千島列島付近は海産物がとても豊か。他県から人々も移住してくる程だった。終戦3日後人々がまた立ち上がるようになった。生活が始めた。やっと根室に帰って来たときも戦争で家や畑が焼け、とても過酷だった。そして自分の生まれ土地を返してほしい。これは、億計万人の国民の問題だ。」

ま逆の橋

四島のかけ橋に対する両国の意志



47のブロックは北方領土を表し、互いに重なり合って大きなかけ橋となり領土返還を祈っている

北方領土はまだ食料や生活が完ぺきではないから根室とつながり自分たちの生活がよりよくなりたいたいと思っています

このかけ橋が北方領土返還を難しくする一因なのだと思う

感想

私は今回の研修に参加しロシア人と日本人の考え方を改めて知った。そして元島民の河田さんの話を聞き資源があるから返してほしいのではないというのが心に残った。私は北海道に住んでいないから直接は聞けないが今回学んだ事実を発信していくのが私にできることだと感じた。大きなことはできないから小さなことでも協力したい

2月7日は「北方領土の日」
なぜ2月7日？
1855年日露両国の国境を択捉島とウルップ島との間と定めた「日露通好条約」が結ばれた日

北方領土返還要求全国大会が東京で開催され、そこには内閣総理大臣も出席するらしいぜ

